

事業者排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更					
(宛先) 京都市長		平成26年11月19日					
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都豊島区南池袋1-16-15		氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) 株式会社プリンスホテル 代表取締役社長 小林 正則 電話 03-5928-1111					
主たる業種	旅館・ホテル	細分類番号	7 5 1 1				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ						
計画期間	平成26年4月から平成29年3月まで						
基本方針	基準年度の温室効果ガス排出量に対し、2.0%以上の削減を目標とする。エネルギーの合理的な使用方針を定め安全で快適なホテル環境の提供を目指す。						
計画を推進するための体制	代表取締役社長より命を受けた管理責任者(総支配人)が省エネ推進委員会において、実施計画の推進管理を行う。						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (23~25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	4,212.8 トン	4,221.6 トン	4,222.6 トン	4,222.6 トン	0.2 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	4,410.1 トン	3,713.6 トン	3,714.6 トン	3,712.6 トン	-15.8 パーセント	
目標の根拠	当ホテルでは第一計画期間に基準年対-12.2%と大きな実績を残したが、さらに照明機器を中心とした高効率機器への転換を継続する。オペレーションでの取組も精度を上げ目標達成とする。						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率
	事業所	事業活動に伴う排出の量 (延床面積×1/100)	11.34	11.37	11.37	11.37	0.89 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
原単位の指標及び目標の根拠	・2015年度機器更新計画案として、冷却塔の更新(1基)ポンプ類、空調設備の整備、更新を予定						
重点的に実施する取組の実施計画	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考		
	126.0 パーセント	126.0 パーセント	126.0 パーセント	126.0 パーセント			
具体的な取組及び措置の内容	(26)年度	機器の適正な運転管理に努める。					
	(27)年度	機器の適正な運転管理に努める。更新計画の策定実施。					
	(28)年度	機器の適正な運転管理に努める。更新計画の策定実施。					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施しようとする措置	措置の内容	ノーマイカー推進を実施し、実施率100%を目指している。					
	上記の措置を採用する理由	従業員の安全確保を含め継続して実施しており、省エネ活動の一環として従業員一同の取組として推進。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量	区分	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	敷地内の約11,025㎡の森林保全・整備と3,625㎡の屋上緑化整備により敷地面積の約50%の緑地保全を確保し、環境負荷軽減に努めている。さらに厨房排水処理施設による汚泥排出量のゼロに取組んでいる。						
特記事項	・第一計画期間の超過削減量1526t-CO2を第二計画期間の排出量から差引いて記載している (平成26年度 508t-CO2 平成27年度 508t-CO2 平成28年度 510t-CO2)						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。